学校番号	313

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「表現」における＜絵画、デザイン＞、「鑑賞」の分野について高校美術の基礎を学習します。
・美術への理解、教養を高め、楽しみながら表現を学んでいきましょう。授業では自主性、能動的な取り組みを重視します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付けることができる
【思考力、判断力、表現力等】美術の幅広い活動を通して、感性を高め、創造的な表現を生み出すことができる。
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】【絵画・デザイン】 ・3年間の学習内容を把握する	a:本校生、教科書の作品を鑑賞し、学習内容、授業の進め方を理解する c:学習内容に関心を持つ。	観察		観察
	色彩の基礎	・色彩理論を学習する ・アクリルガッシュを用いて色彩構成をする	a:色彩理論の基礎的内容を理解する a:画材の特性を理解し、丁寧に作業している。創造的な表現を工夫している。 b:学習した理論を用いて自分の作品を制作する構想を練っている。 c:色彩の科学的分析に興味を持って学習する。	製作途中作品 完成作品	製作途中作品 完成作品	観察 製作途中作品 完成作品
2学期	鑑賞	・完成した1学期の自作について発表する ・他の生徒の作品を鑑賞し、意見を発表しまとめる	b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取っている。 c:他の生徒の作品について興味、関心を持って交流している。		レポート 観察	レポート 観察
	デザイン 陶芸	・粘土を用いて作品を制作する ・アイデアデザインを下絵にまとめる ・陶芸技法工程を学ぶ ・装飾の技法について学ぶ	a:陶芸の技法、工程を理解し、丁寧に作業する。 b:形をデザインし機能と装飾効果も考えて構想を練っている。 c:陶芸、デザインの融合に興味を持って取り組む	製作途中作品 完成作品	製作途中作品 完成作品	観察 製作途中作品 完成作品
	素描	静物画デッサン(アクリル)	a:鉛筆の特性を理解して効果的な表現を工夫している b:対象の陰影を観察し立体的な表現を構想している。 c:モチーフを客観的に観察することに興味を持って取り組む。	製作途中作品 完成作品	製作途中作品 完成作品	観察 製作途中作品 完成作品

3学期	絵画	・静物画(アクリル) 幾何形体 花 ビン	a:アクリル絵の具の特性を理解し、創造的な表現に取り組んでいる。 b:モチーフを見ながら感性を働かせ、表現の構想を練っている。 c:様々な作家の表現に興味を持ち、自分の制作に活かそうとしている。 c. 教科書や生徒の作品例を鑑賞して美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを理解している。	製作途中作品 完成作品	製作途中作品 完成作品	観察 製作途中作品 完成作品
	鑑賞	・完成した23学期の自作について発表する ・他の生徒の作品を鑑賞し、意見を発表しまとめる	b： 美術作品などのよさや美しさを感じ取っている。 c:他の生徒の作品について興味、関心を持って交流している。		レポート 観察	レポート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度